



# 研修会で学んだこと

～利用者が良い一日を過ごせるように～

ショートステイ・ゆきよし とやの  
石川 賢次



この文字がどういう意味を持っているかわかりますか？

『介 護』



最初に「介」という文字の意味は？

『介』

意味：助ける＝介助・援助する。



重要となる「護」という文字の意味は？

『護』

意味：守る = 利用者の権利・尊厳

# 重要となる「護」という文字の意味は？

利用者の権利・尊厳



利用者本位のサービスを実施



「これでよろしいですか？」 「はい。」

介助を行った後に、ここまで行わないと、「介護」というものは成り立たないということです。

# 利用者の立場になって考える・・・どうやって？

①実際に施設生活での場面を体験する。

例えば・・・

車椅子やリクライニング車椅子に長時間乗車する。

車椅子に乗車し、テーブルの脚や扉に接触させる。

オムツ or リハビリパンツを装着し、長時間椅子に座る。 など

実際に体験することにより、利用者が施設生活でのさまざまな場面で恐怖心や不快感を感じていることが実感でき、利用者にとれだけ負担を掛けていたかわかる。この事を知ることにより、利用者がどんな思いで過ごされているのか理解することができる。利用者の思いを考慮し、介助や支援を行う事により、利用者にかかる負担を軽減し、利用者の不快感を減らすこともできる。体験することで、利用者の立場になって考えられると思う。

# 利用者の立場になって考える・・・どうやって？

②自分がやられて不快に感じることは他人も不快に感じる事が多い。

例えば・・・

言葉づかい、接し方。

無言で対応される。（突然体を触られる。車椅子を動かされる。）

作業的に対応をされる。（職員の都合に合わせて対応される。） など

利用者の立場になって物事を考える事は難しい事と言えるが、自分自身の体験を活かして業務を行う事は容易であり、利用者の立場になってということに近づけると思う。日々の業務や対応について細かいところまで自分がされて不快に感じる事を意識しながら業務を行う事により、利用者の立場になって考えるという事が実践できていると考える。

## 最後に

今回、サブタイトルにした「利用者が良い一日を過ごせるように」ということについてですが、利用者は就寝前、その日にあった出来事を振り返ると言われています。あの職員の人にこうしてもらって嬉しかったと思えるような支援をしなければなりません。その為には、本日お伝えした内容を実践しなければならないと思い、今回、発表させていただきました。

今回の内容は明日からでも実施できる内容だと思います。技術は身に付くものであり、身に付くまで時間がかかりますが、今回お伝えした内容は意識することで明日からでも実施できることです。

利用者の為、今後の業務に活かせてもらえれば幸いです。



A dark blue arrow points to the right from the left edge of the slide. Below it, several thin, curved lines in shades of blue and grey sweep across the left side of the page.

ご清聴ありがとうございました。

介護という仕事は利用者を喜ばせる仕事です。